

令和7年度 第1回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

対話テーマ:リニアと富士トラムがつくる将来の山梨の姿

県では、本県が目指すべき姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて、知事が直接、幅広い層の県民と意見交換をすることで、県民が抱えている課題を把握し、その解決や新たな施策の立案等に生かしていきたいと考えています。
今回は、学生、若者の皆様からリニアと富士トラムがつくる将来の山梨の姿について提案を受け、意見交換を行いました。

【日時場所】 令和7年8月9日(土) 午後2時30分から やまなし地域づくり交流センター大会議室

【対話相手】 3団体(都留文科大学教養学部田開ゼミの皆様、山梨学院大学経営学部の皆様、トップファンやまなしの皆様)

(提案の概要)

■ 都留文科大学教養学部田開ゼミ 「富士トラムから始まる、富士山の新しいかたち～よりみちがひらく、もう一つの旅～」

○富士山のオーバーツーリズム問題に対し、富士トラムを活用した分散型観光に重点を置き、歴史・自然・文化を楽しめる4つのツアー(いにしへの登山道を歩き歴史満喫、樹海台で大自然満喫、御庭・御中道、五合目満喫)を企画。多言語ガイドや予約制の導入、記念品のアイデアも盛り込んだ、富士山の新しい楽しみ方を創出する提案。

■ 山梨学院大学経営学部 「山梨県で出会い未来を描く『恋の旅トラム』」

○未婚率上昇などを要因に人口減少が進む中、富士トラムを貸し切り、観光地を巡るツアー型婚活で出会いの場を創出する「恋の旅トラム」を提案。「ここで出会えてよかった」「また来たい」「山梨に住んでみてもいいかも」、そう思ってもらえるような心に残る一日を、主に峡南地域を舞台に企画。

■ トップファンやまなし 「心の距離も縮める交通革命—富士トラムとリニアが描く“自分らしく暮らせる山梨”」

○富士トラムを活用した若者、高校生、大学生向けツアーにより、地域との心理的距離を縮め、地域に関わる人づくりを推進。さらに、地域の人々の思い出や“好き”の声を集めて車内に展示する「#ヤマナシボイス」により、トラムを“走る地域の魅力発見の場”に変え、地域の価値を再認識させる。トラムやリニアを通じて、自分らしく暮らせる山梨の実現を目指す提案。

(知事(県)の主な発言)

○ 富士トラムをきっかけに、山梨の魅力をどのように共有し、発展させていくかという視点から、地域資源の活用や観光の可能性に関する多様で積極的な提案をいただき、大変心強い。

○ 今すぐ実現できそうなアイデアも多く含まれており、地域の魅力や課題に対する新たな視点や重要な気づきを得ることができた。

○ 山梨の未来は待っていて与えられるものではなく、皆さん自身が主体的に築いていくものであり、今後も議論を継続していただきたいし、我々も最大限の支援をしていきたい。

